

## ■ ■ 病理検査ってどんな検査？ ■ ■

臨床検査科 香取 信一

皆さんは病理検査をご存知ですか？

病院で行われている検査はたくさんありますが、今回は病理検査についてお話しします。

病理検査は細胞の良性・悪性の判断だけでなく、特に癌の場合は悪性度や進行の度合いも判断できます。最近では癌組織の遺伝子を調べ、最も効果のある抗がん剤を選択し治療に活かすことが出来ます。

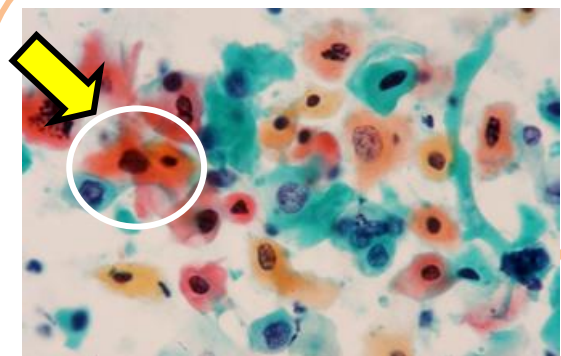
病理検査には病変部を直接採取し検査する組織診と、尿や喀痰中の細胞を検査する細胞診があります。採取された組織診の検体は、ホルマリンで固定した後、薄切りして、スライドガラスに貼り付けて染色をします。細胞診では採取した尿や喀痰をスライドガラスに貼り付け、固定し染色します。組織診、細胞診ともに顕微鏡を用いて詳しく観察する検査です。

染色した細胞は顕微鏡で見ると図のように見えます。

矢印は、喀痰中にみられた肺癌細胞を指しています。



図



組織診、細胞診ともに病理医が診断しますが、細胞診では細胞検査士の資格を持った臨床検査技師が異常な細胞を見つけ、その後、病理医が最終診断します。

病理検査は、治療方針の決定に重要な役割を担っています。

